

当の教えに出遇うことは「生きる」ことから、「生かされる」ことへの大転換

# 無碍の一道 第85号

発行:2022年10月20日  
発行者:浄土真宗本願寺派 長尾山 天龍寺  
〒739-0147 住職 天野英昭  
東広島市八本松西丁目10番1号  
☎・FAX 082-428-1360

## 報恩講並びに秋季永代経法座

親鸞聖人のお法りを喜ばせていただきますよう

日 時 11月16日(水) 9:00~15:00頃

ご講師 前田 純代師(広島市西区 善法寺坊守)

朝席 9:00~11:30

とき  
お斎(お食事)は、コロナの中中止にさせていただきます。

昼席 13:00~15:00

## 第122回歎異抄輪読会

日 時 11月17日(木) 14:00~15:30頃

ご講師 松田正典先生(広島大学名誉教授)

費 用 500円

参加者 天龍寺の門信徒の方のみならず、どなたでも参加は自由です。

## 除夜会並びに元旦会

日 時 12月31日(土) 23:30~24:30頃

場 所 天龍寺 本堂

## 磯松天龍寺墓苑並びに磯松天龍寺墓苑合同墓合同参拝のお礼

今年も8月12日(金)の18:00から磯松天龍寺墓苑にて合同参拝をさせていただきました。昨年、大雨のために急遽中止にさせていただき、みなさまには大変ご迷惑をおかけしました。

今年は、まだまだ暑い中ではありましたが、みなさまにはお忙しい中、多くの方のご参拝をいただきましたこと感謝申し上げます。さらに過分なるお供えも頂戴しました事、重ねて感謝申し上げます。

今年も家内の兄（島根県高林坊住職）・息子と私で法要を務めさせていただきました。磯松天龍寺墓苑法要も務めさせていただき、早い物で30年が過ぎました。今は亡き祖父、父そして私、息子と4代の長きに渡りご縁を深めさせていただいておりますこと厚く感謝申し上げます。

今後息子・孫の代へと変わっていくと思いますが、これまで同様に、磯松天龍寺墓苑・磯松天龍寺墓苑合同墓参拝を継承させていただければありがたいと思う事でもあります。

遠くは東京・千葉県等、なかなかご縁をいただく事が難しい方々ともこの様な法要を通しましてご縁をいただきます事は、この点もありがたい事だとしみじみ感じる事でもあります。

## 出逢いがあれば必ず別れがある世界をいきている存在 I

度々申してきましたが、勤務していました学校を早期退職させていただき13年が過ぎました。当山はお寺でありますから、ご当家の悲しいご縁、すなわちお葬儀のご縁をいただいてまいりました。

この13年間のご縁をいただく中で、色々と私なりにご縁を通しましてご指南をいただきました。少しそのことに関しまして、触れさせていただければと思います。

残念ながら全ての人には限りのある世界を生きている存在であり、長年連れ添った夫婦であれ、親子であれ、家族であれ、親しい友人であれ、出逢いがあれば、必ずいつかどこかで別れあう人生を、それぞれが生きているとご指南をいただきました。

また、お気を悪くされましたら、ご理解をいただければありがたいと存じますが、今年の初盆のご縁では、還暦を迎えずこの境涯を去られたご縁も多々ありました。さらにはベット・畳の上ではなく、様々な所でご逝去された方々のご縁もありました。

私は、教員時代には自分の最後は病院・施設のベット、我が家の畳の上で自分の最後を迎えるものと勝手に想像しておりました。

しかしながら生きているこの境涯は、どこまで生きても自分の思い通りにならない日々を送らなくてはなりません。この境涯を去る時も、なかなか自分の思い通りに去らせていただけないともご指南をいただいたことでもあります。

さらに以前も申したと思いますが、教員時代には、人を花にたとえると、咲いて枯れて散っていくとばかり思っておりました。

しかしながらこれだけ科学技術・医療技術が発達しても、あらためて咲いて枯れて散って行くことの難しさもご指南をいただいた点でもあります。

さらに少し話は展開をしますが、少し高飛車な言い方になりますが、教員時代、世界史の時間によく申していましたことが、「人類2000年、4000年の歴史は、歴史と言いますと、とにかく織田信長、豊臣秀吉。徳川家康等と人に視点・関心が向きますが、平たく申せば戦争と災害と疫病との戦いの歴史だ。」と申しておりました。

未だ収束をみないコロナ。近年の異常気象により毎年世界のどこかで災害が起こり、さらにこれだけ文明が発達し、さすがに大きな戦争はないと世界の多くの方は考えていたと思いますが、2月にはウクライナ戦争が始まり、未だ戦争がいつ収束するか分からない状況が続いております。ここにきて核の脅威もマスコミで取り上げられており、この先どのような時代になるのかと思っております。（次号に続きます。）